

## 英語指導助手配置事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	川崎 正人	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	S45 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	実行予算			事業経過年数					52 年			
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 学びを伸ばす ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子供の育成 ]				関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題]												
英語教育において、生きた英語に触れたり、国独自の様々な考え方や異文化を理解することが望ましい												
[事業目的]												
外国語指導助手を配置し、中学・高校生に生きた英語に接する機会を提供することにより、国際社会で活躍できる人材を育成する												
[事業内容]												
①配置人数 107名（中学校74名 高校32名（中国語1名含む） 義務教育課1名）												
②業務内容 （1）英語および中国語の授業における教材作成等の授業準備およびチーム・ティーチングなど （2）英語教育に関する活動（中学校英語セミナー、放課後に生徒と英会話教室など）の支援 （3）クラブ、部活動の補助など												
[受益者] 小中学生および高校生						[想定される受益者数] 約76,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 私立高等学校教育振興補助金 (役割分担) ・私立高校にALTを配置するための経費を補助（大学私学課）					
市町との連携状況	・授業に支障がない範囲で、小学校の要請を受けて、中学校配置ALTが小学校で英語指導を行う。					他県の状況	石川県 ・県立学校、教育センターに44名の英語指導助手を配置 富山県 ・高校に英語指導助手44名を配置					

## 英語指導助手配置事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	川崎 正人			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	S45 年度 経過年数 52 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	実行予算													
補助率														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	59,006					59,006								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		575,990	578,493	575,827	61,049	59,006	住居手当の改正に伴い、ALTの宿舍借上料を見直し							
2月現計予算額の推移		552,526	554,971	560,091	55,201									
決算額の推移		547,927	553,657	555,762										
前年度までの 主な増減理由	令和2年度 ALTの給与、共済費などを会計年度任用職員分として教育政策課で要求したため減額													
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	英語授業時間の半分以上 英語を使用する学校の割合(%)	(70) 実績 72.0	(75) 86.6	(75) 87.6	(75) -	(75)	(90)	(100)	現在の実績を踏まえて、中間目標を90%に設定 令和2年度はコロナの影響により調査を中止。					
活動指標	ALT配置人数(人)	(111) 実績 111	(107) 107	(107) 107	(107) 107	(107)	(107)	(107)						
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
コロナの影響により、ALTの配置校数減				コロナ対策として、ALTが来日する際にPCR検査などを実施(2月補正前倒し分)				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

## 道徳教育総合推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	川崎 正人	
事業主体	県、市町				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H23 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	実行予算、委託								経過年数	11 年		
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 学びを伸ばす ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子供の育成 ]				関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題]												
道徳教育について、家庭や地域社会との共通理解を深め相互連携を図ることが必要である。												
[事業目的]												
本県独自の道徳教育用教材を作成・活用し、夢や目標を持った児童・生徒を育成する。また、保護者や地域参加型の道徳授業を開催し、相互連携を図る。												
[事業内容]												
①「夢へのパスポート」を作成・配布し、小学1年生～中学3年生まで持ち上がり、夢の実現に向けて自分を振り返る学習を実施												
②保護者・地域参加型の道徳授業「親子で学ぶ道徳講座」の開催（市町委託）												
[受益者] 小中学生						[想定される受益者数] 約60,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	保護者・地域参加型の道徳授業「親子で学ぶ道徳講座」を実施					他県の状況	すべての都道府県で国の道徳教育総合推進事業を実施					

## 道徳教育総合推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	川崎 正人					
事業主体	県、市町				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法	実行予算、委託								□ 補助金						□ その他	
補助率																
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	2,745	2,745				0		道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業委託金								
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移		4,104	4,104	3,646	3,338	2,745	印刷費用の見直し									
2月現計予算額の推移		2,954	3,196	3,646	936											
決算額の推移		2,483	2,715	2,990												
前年度までの 主な増減理由	令和元年度 中学校で新たな道徳の教科書を配布することに伴い「ふくい希望」の作成を取りやめ															
[成果指標等の推移]																
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	「将来の夢や目標を持っている」と答える児童・生徒の割合(%)	(85) 実績 85.3	(85) 実績 86.0	(85) 実績 81.0	(85) 実績 -	(85) 実績 -	(90)	(90)	全国学力調査のアンケート結果から抜粋 令和2年度はコロナの影響により、全国学力調査が中止							
活動指標	親子で学ぶ道徳講座実施校数(校)	(15) 実績 14	(15) 実績 15	(15) 実績 15	(15) 実績 -	(15) 実績 -	(15)	-								
[事業の評価]																
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価								
コロナの影響により、国の事業が中止となったため、県の事業を縮小				県独自の道徳教材作成費用について、実績を踏まえて縮減				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

## 小中学校「ふくい理数グランプリ」事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課		課長名	川崎 正人			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H20 年度 経過年数 14 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法	実行予算														
補助率															
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 学びを伸ばす ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子供の育成 ]				関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]								
<p>[解決すべき問題・課題]</p> <p>学校の授業では扱わない、未知の自然事象や現象について探究していく科学本来の楽しさに触れたり、自分の力を試したりする機会を設けることで科学好きの裾野を広げるとともに、未知の分野に挑戦する探究心や創造性に優れた人材を育成することが必要である。また、国が実施する「科学の甲子園ジュニア」の福井県代表を選考する場を設ける必要がある。</p>															
<p>[事業目的]</p> <p>「ふくい理数グランプリ」を開催し、児童・生徒の数学・理科や科学技術に対する興味や関心を喚起し、科学的な思考力・表現力を育成する。</p>															
<p>[事業内容]</p> <p>①ふくい理数グランプリ（小学校部門）の開催 小学生を対象とした「ふくい理数グランプリ」を開催し、算数、理科や科学技術に対する興味や関心を喚起</p> <p>②ふくい理数グランプリ（中学校部門）の開催 中学生を対象に、3人1組で日常生活にある課題を科学的に解明する理数グランプリを開催し、科学的な思考力・判断力を育成</p> <p>③中高接続のための「理数ゼミ」の開催 ふくい理数グランプリで上位に入賞した小学生、中学1、2年生を対象に専門の講師を派遣し、さらなる学力を向上</p> <p>④科学の甲子園ジュニアへの対策 科学の甲子園ジュニアへ出場する福井県代表6名に対し、上位入賞対策を実施</p>															
[受益者] 小中学生						[想定される受益者数] 約2,300人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ふくいサイエンスプロジェクト事業 (役割分担)  高校部門ふくい理数グランプリの開催 (高校教育課)							
市町との連携状況						他県の状況		石川県 夏休み期間を活用し、中学生サイエンスチャレンジを実施  富山県 夏休み機関を活用し、とやま科学オリンピック事業を実施							

## 小中学校「ふくい理数グランプリ」事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	川崎 正人	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度 H20 年度 経過年数 14 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	実行予算											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額	1,187			(諸)	452	735						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	1,348	1,238	1,177	1,189	1,187							
2月現計予算額の推移	1,348	1,238	1,177	1,189								
決算額の推移	1,062	1,082	878									
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	算数・数学や理科の勉強が好きだと答える児童生徒の割合(%) (目標) (75) 実績 73.1	(75) 74.0	(75) 77.4	(75) 76.8	(75)	(80)	(80)	科学好きの裾野の広がりについて、県学力調査(SASA)の質問紙結果により算出。これまでの経年変化をもとに設定				
活動指標	理数グランプリ参加者数(人) (目標) (1,500) 実績 2,119	(1,500) 1,934	(1,500) 1,878	(1,500) 1,146	(1,500)	(1,500)	(1,500)	事業の周知活動について参加者数より評価。児童生徒数が減少傾向にあるため、参加者数は現状維持を目標とする				
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
コロナの影響による参加者数の減								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 芸術教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課		課長名	川崎 正人
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	実行予算、補助											
補助率	1/3											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 学びを伸ばす ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子供の育成 ]				関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題]												
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度～平成31年度の第1期推進校がコンクールなどで優秀な成果を上げた。令和2年度から新たな推進校を指定し、県全体のレベルアップを図る</li> <li>・推進校だけでなく、多くの児童生徒に弦楽に親しむ機会を充実させる</li> <li>・図工の授業において、土粘土を使った題材は、学習指導要領に位置付けられ、教科書にも掲載されているが、ほとんどの小学校において土粘土を活用していない。</li> </ul>												
[事業目的]												
学校教育を通じて、音楽や美術など芸術面における体験活動を充実し、児童・生徒の感性や表現力の向上を図る												
[事業内容]												
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>○吹奏楽活動の推進 推進校を指定し、推進校同士の合同練習会を実施する。その際にプロの講師を派遣 東京芸術大学と連携し、講習会を開催</p> <p>○弦楽器奏者の育成 小中学校、高校の希望に応じて弦楽器を貸与し、県内外で活躍する弦楽奏者を派遣 合同練習会や発表会の機会を設け、合奏練習を実施。 貸与希望校以外の生徒も弦楽器に触れる機会を提供するため、体験会を実施</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p>○文化芸術教育の推進 小学校の希望に応じて、越前荒土を配布し、図工の授業で福井県の伝統工芸 に触れる機会を提供 東京芸術大学生を講師として招き、中学校、高校の美術部対象研修会を実施</p> <p>○まちかどミニコンサートへの参加支援 「芸術文化を感じる街ふくい創出事業（文化課）」で開催する「まちかどミニ コンサートへの参加を支援」</p> </div> </div>												
[受益者] 小中学生および高校生						[想定される受益者数] 約76,000人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有      事業名    吹奏楽活動推進事業 (実績)  中学校19校、高等学校7校を推進校として指定し、大型楽器の整備や合同練習を実施					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有      事業名    芸術文化を感じる街ふくい創出事業（文化課） (役割分担)  文化課が開催するまちかどミニコンサートへ参加する吹奏楽部や弦楽部に対して支援					
市町との連携状況						他県の状況						

## 芸術教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	川崎 正人			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	実行予算、補助											経過年数		
補助率	1/3											2 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	14,754				14,754									
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					28,751	14,754	令和2年度に吹奏楽コンクールがコロナウイルス感染症の影響により中止となったため、大型楽器の購入支援を休止。							
2月現計予算額の推移					20,352									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	全国大会入賞校数(校) (目標) 実績				(1) -	(1)	(1)	(1)	コロナの影響によるコンクールの中止					
活動指標	吹奏楽講師派遣回数 (回) 実績				(110) 76	(110)	(110)	-						
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
コロナの影響によるコンクールの中止				コンクール中止のため、大型楽器の購入支援を休止				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 13,997			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

## 部活動地域移行研究事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	川崎 正人	
事業主体	県、市町				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	実行予算								事業経過年数	1 年		
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 学びを伸ばす ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子供の育成 ]				関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題]												
<p>国の方針である部活動の地域移行を進めるにあたっては、指導者の確保、芸術文化団体等としての受け皿づくり、保護者負担と行政支援の在り方など調整すべき課題が多い。</p>												
[事業目的]												
<p>令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、県内モデル地域において実践研究を実施し、各地域の実情に応じた課題の整理や今後の在り方を検討する。</p>												
[事業内容]												
<p>○県内モデル地域において休日の運動部活動の地域移行を実践</p> <p>○県内有識者、文化団体等関係者による研究評価委員会を設置し、地域に応じた課題を整理</p> <p>【研究テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校との連携（教育指導、学校・保護者対応、兼職教員の負担）</li> <li>・指導者の確保（指導者登録制度、教員兼業）</li> <li>・地域部活動の運営への行政支援（受益者負担軽減、指導者支援）</li> </ul>												
[受益者] ジュニア吹奏楽団員						[想定される受益者数] 100人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 部活動地域移行研究事業（保健体育課） （役割分担） 義務教育課：文化部活動の地域移行について検討 保健体育課：運動部活動の地域移行について検討					
市町との連携状況	県内市町をモデル地域に指定し、中学校において実践研究を実施					他県の状況	石川県、富山県、岐阜県等においても国庫事業の受託を検討中					

## 部活動地域移行研究事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	川崎 正人	
事業主体	県、市町				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	実行予算									経過年数		
補助率										1 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	700	700			0	地域部活動推進事業						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						700						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	調査対象者数(人) (目標) 実績					(100)	—	—	モデルの地域部活動に参加した生徒、保護者等 中間目標：県内全市町で部活動の地域移行に関する方針を検討 最終目標：全中学校・高校で生徒の個性を引き出す部活動を実施			
活動指標	実践モデル地域数(地域) (目標) 実績					(1)	—	—				
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 「引き出す・楽しむ教育」推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	川崎 正人	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	実行予算								事業経過年数	1 年		
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	〔 1 学びを伸ばす 〕				関連する県の計画等		〔 教育振興基本計画 〕				
<p>[解決すべき問題・課題]</p> <p>子どもたちが将来、夢や希望を実現し、地域の担い手として活躍していくためには、一人一人が個性を発揮して、自らの可能性に挑戦し、一人では解決が困難な課題について、多様な人々と協働しながら乗り越えていく力が不可欠である。このような力を育てていくために「引き出す・楽しむ教育」を進めていく。</p>												
<p>[事業目的]</p> <p>子どもの自ら学ぼうとする力を育む特色ある学校づくりを推進</p>												
<p>[事業内容]</p> <p>(1) 児童・生徒による「引き出す・楽しむ教育」フォーラムを開催し、オンラインで配信  <b>【テーマ例】</b>            ・児童生徒の視点からの授業改善の提案            ・他国の文化を取り入れた学校行事の提案            ・校則の見直しについての提案 等</p> <p>(2) 各学校の「引き出す・楽しむ教育」のテーマに応じた研修や意見交換会を実施</p>												
[受益者] 小中学生						[想定される受益者数] 約60,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	各小中学校において、「引き出す・楽しむ教育」の実施テーマを設定					他県の状況						

## 「引き出す・楽しむ教育」推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	川崎 正人				
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	実行予算											経過年数			1 年
補助率															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	1,002			(繰) 1,002	0	教員指導力向上基金									
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>															
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	令和3年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移						1,002									
2月現計予算額の推移															
決算額の推移															
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	「自ら考えて取り組む」 子どもの割合(%) (目標) 実績					(80.0)	(82.5)	(85.0)							
活動指標	「引き出す・楽しむ教育」 テーマ設定校の割合 (%) (目標) 実績					(100)	(100)	(100)							
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価							
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

## 福井県学力調査データ処理業務委託事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	川崎 正人	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	実行予算			経過年数					2 年			
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 学びを伸ばす ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子供の育成 ]				関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題]												
福井県版の学力調査について、教員による採点および採点結果のデータ入力業務等が負担となっている。												
[事業目的]												
福井県学力調査の採点やデータ処理を外部委託し、調査結果反映の迅速化を図る												
[事業内容]												
○福井県学力調査の採点とデータ処理業務を委託												
○児童生徒による自己採点の導入												
○児童・生徒の採点結果の個人票を作成												
○児童・生徒の解答から新たな課題についての研究、記述式問題解答の分析												
[受益者] 小中学校教員						[想定される受益者数] 約4,100人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有      事業名      元気ふくいっ子学力向上事業 (役割分担)  福井県学力調査の印刷費の一部を要求					
市町との連携状況						他県の状況	・ 33都府県で独自の学力調査を実施 ・ 20都府県が独自の学力調査を外部委託					

## 福井県学力調査データ処理業務委託事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	川崎 正人			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	実行予算					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率						□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	3,498				3,498									
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					3,498	3,498								
2月現計予算額の推移					3,498									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	SASA実施満足度 (%)	(目標)			(70)	(90)	(90)	(90)	SASA実施後に教員に対してアンケート調査を実施					
		実績			97									
活動指標	SASA実施校割合 (%)	(目標)			(100)	(100)	(100)	(100)						
		実績			100									
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
全ての学校で福井県学力調査を実施								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

## ふるさとの魅力発信推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	川崎 正人	
事業主体	県、市町				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	実行予算、補助金											
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 学びを伸ばす ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子供の育成 ]				関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題]												
<p>全国学力学習状況調査における質問紙の結果から、地域や社会をよくするために考える児童生徒数が半分しかいない。そこで、体験活動を通して学んだことや、地域の課題に対する解決方法などを地域に向けて発信する活動を推進する。</p>												
[事業目的]												
児童・生徒が地域の課題を見出し、課題解決に向けて他者へ発信する活動を通して、ふるさと福井に誇りや愛着を持ち、地域の魅力を発信できる人材を育成												
[事業内容]												
<p>(1) 小中学生がふるさとをPRするCMを作成するための体験学習などの経費に対して支援。</p> <p>(2) 「ふるさと福井CMコンテスト」の開催</p>												
[受益者] 小中学生						[想定される受益者数] 約60,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	市町立小中学校において、ふるさとCMの作成					他県の状況						

## ふるさとの魅力発信推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	川崎 正人			
事業主体	県、市町				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	実行予算、補助金											経過年数		
補助率	1/2											1 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	5,436					5,436								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						5,436								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	地域や社会をよくするために考える児童・生徒の割合(%) (目標) 実績					(52)	(55)	(60)	全国学力・学習状況調査のアンケート結果					
活動指標	地域の観光資源の創出・発信活動の実施校数(校) (目標) 実績					(52)	(52)	(52)						
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

## 外国人児童生徒等支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	川崎 正人	
事業主体	市町				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H31 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	2/3											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 学びを伸ばす ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子供の育成 ]				関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題]												
日本語指導が必要な児童生徒数は増加傾向にあり、使用言語の多様化が進むとともに、集住化、散在化の両方の傾向がみられるようになっており、それぞれの地域の実情に応じたきめ細かな支援が必要となっている。												
[事業目的]												
日本語指導が必要な児童生徒に対する支援体制を強化し、外国人児童生徒の教育の充実を図る												
[事業内容]												
<p>(1) 外国人児童生徒が在籍する小中学校に日本語指導員を配置し、「特別な教育課程」による日本語指導を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒一人一人にあった個別指導計画の作成</li> <li>・県、市町、学校関係者による連絡協議会を開催し、成果報告や検証結果の普及啓発を実施</li> </ul> <p>(2) 翻訳機の整備を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校での外国人児童生徒、保護者との面談などコミュニケーションツールとしての活用方法を検証</li> </ul>												
[受益者] 外国人児童生徒						[想定される受益者数] 約400人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	・市町が独自に配置する支援員と連携し、日本語指導が必要な外国人児童生徒への個別指導や教室で授業を受けられる外国人児童生徒に対するチームティーチングを実施					他県の状況						

## 外国人児童生徒等支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	川崎 正人		
事業主体	市町				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H31 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助								<input type="checkbox"/> 補助金				
補助率	2/3								<input type="checkbox"/> その他				
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	18,873	9,436			9,437	帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移			11,211	15,515	18,873	外国人児童生徒数の増加に伴い、支援員などの配置を拡充							
2月現計予算額の推移			10,298	15,515									
決算額の推移			8,398										
前年度までの 主な増減理由	令和2年度 鯖江市に対して新たに支援												
[成果指標等の推移]													
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	「特別の教育課程」による日本語指導の実施状況 (%) (目標)		-	(50)	(50)	(50)	(100)	文部科学省による調査が隔年で実施されており、令和2年度はコロナの影響により中止					
	実績		-	-									
活動指標	日本語指導員の配置人数 (人) (目標)		(8)	(9)	(10)								
	実績		7	9									
[事業の評価]													
前年度の実績			実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
越前市、鯖江市に対して支援を実施			各市町の外国人児童生徒数が増加したため、それに伴って、支援を拡充				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
							<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

## 弁護士を活用した「いじめ予防授業」実施事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課		課長名	川崎 正人			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法	実行予算														
補助率															
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 学びを伸ばす ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子供の育成 ]				関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]								
<p>[解決すべき問題・課題]</p> <p>いじめの積極的な認知に伴い、いじめの件数は増加傾向にあり、その内容も多様化している。いじめを予防することは重要な課題であり、そのためには児童生徒がいじめに対する理解を深める必要がある。課題解決のためには、いじめが人権問題であり、法に触れる行為であることを弁護士に説明してもらうことなどが考えられる。</p>															
<p>[事業目的]</p> <p>弁護士によるいじめの予防授業を実施することで、いじめに対する児童生徒の理解を深め、いじめの未然防止を図る。</p>															
<p>[事業内容]</p> <p>○いじめ予防授業の実施 小中学生を対象に、弁護士が人権を守る重要性やいじめの法律上の扱いを示し、児童生徒は事例をもとにいじめについての理解を深める授業実施校に市町の担当者や他校の教員を集め、授業後、弁護士による勉強会や教員間での意見交換会を実施</p> <p>○校長講習の実施 いじめ対策のポイント、いじめ未然防止の重要性、予防授業の効果を周知</p> <p>○事業成果の全小中学校との共有 予防授業や勉強会などの内容を学校と共有し、日常の授業で活用</p>															
[受益者] 小中学生						[想定される受益者数] 約1,000人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況									

## 弁護士を活用した「いじめ予防授業」実施事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	川崎 正人			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	実行予算													
補助率														
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	1,104					1,104								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					1,104	1,104								
2月現計予算額の推移					1,104									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	いじめに対する理解度 (目標) (%) 実績				(80) 82.3	(80)	(85)	(90)	いじめ予防授業後のアンケートにおいて、児童生徒のいじめに関する理解度（どのような行為がいじめにあたるか等の理解度）					
活動指標	いじめ予防授業実施回数 (目標) (回) 実績				(17) 13	(17)	(17)	-						
[事業の評価]														
前年度の実績					実績を踏まえた令和3年度の変更点					事業評価				
弁護士によるいじめ予防授業を13市町で実施										<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
										<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
										<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 幼児教育支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費・標準外経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	川崎 正人						
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度 H25 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度						
事業実施方法	実行予算、補助金																
補助率																	
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 学びを伸ばす ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子供の育成 ]				関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]										
[解決すべき問題・課題]																	
<p>幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期であり、すべての子どもが質の高い教育を受けられるようにする必要がある。また、核家族化や地域とのつながりの希薄化などが進み、子育てをしている保護者が悩みや不安を抱えやすい状況にある。</p>																	
[事業目的]																	
幼児教育支援センターを拠点として、幼児や家庭の教育力向上のための研修などを行う																	
[事業内容]																	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>(1) 幼児教育相談員配置事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育所などの巡回訪問・指導などを担当する「幼児教育アドバイザー」を配置</li> <li>・ 家庭教育の向上を図り、家庭の自立を支援する「家庭教育アドバイザー」を配置</li> </ul> <p>(2) 幼児教育指導力向上事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児教育力向上会議の開催</li> <li>・ 幼児教育のリーダー（市町幼児教育アドバイザー、園内リーダー）の養成</li> <li>・ 幼児教育の質向上のための園訪問による実践研修、事例検討会等の実施</li> <li>・ 幼小接続カリキュラムに基づく教育の推進</li> <li>・ 幼小接続講座の開催</li> </ul> </div> <div style="width: 45%;"> <p>(3) 遊び活性化プロジェクト事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 童謡・唱歌を通じた家族のふれあい促進</li> <li>・ 童謡歌手（由紀さおり）による「童謡で伝える会」の開催</li> </ul> <p>(4) 幼稚園におけるICT化支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼稚園職員の負担軽減を図るため、業務のICT化にかかる経費を支援</li> </ul> </div> </div>																	
[受益者] 幼稚園、保育所、認定こども園の園児および小学生						[想定される受益者数] 36,000人											
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)										
市町との連携状況	市町幼児教育アドバイザーによる幼稚園、認定こども園、新規採用教員研修の実施					他県の状況	幼児教育センターの設置状況 ・ 福井県：平成24年11月 ・ 富山県：平成31年4月 ・ 石川県：平成28年4月										

# 幼児教育支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費・標準外経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	川崎 正人			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	実行予算、補助金													
補助率														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	9,715	3,088			6,627									
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		17,159	17,463	14,552	7,008	9,715	幼稚園のICT整備支援事業を追加							
2月現計予算額の推移		14,802	16,617	12,476										
決算額の推移		14,524	16,291	12,238										
前年度までの 主な増減理由	令和2年度 会計年度任用職員分を教育政策課で要求したため減額													
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	園内リーダー認定者の在籍する園の割合(%)	(70)	(80)	(82)	(85)	(87)	(90)	(100)						
		実績 78	84	86	86									
活動指標	園内リーダーの養成人数(人)	(90)	(90)	(90)	(90)	(90)	(90)	(90)	コロナウイルス感染症の影響によりR2年度は園内リーダー養成研修を中止					
		実績 91	98	92	-									
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
コロナウイルス感染症の影響により、各種研修などを中止				幼稚園職員の業務の負担軽減を図るため、業務のICT化にかかる費用を支援。				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額			
								□ 継続	□ 休止	□ 完了				
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他				

## 英語力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	川崎 正人
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度 H23 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	実行予算、補助金										
補助率											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 学びを伸ばす ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子供の育成 ]				関連する県の計画等		〔 教育振興基本計画 〕				
[解決すべき問題・課題]											
学習指導要領では4技能の育成が強く求められており、その育成には英語力の客観的な評価と指導改善および学習改善が必要である。											
[事業目的]											
生徒の英語コミュニケーションの機会を充実させることにより、「使える英語力」を育成する英語教育を実践する											
[事業内容]											
(1) 英語教育地域人材バンク事業 ・県内在住の英語を話せる人材データベースを作成し、小学校における外国語活動や外国語科の授業および英語関係の行事などで活用し、児童の英語力向上を図る (2) 児童生徒の英語力向上 ・グローバル社会で求められる英語力について、その学習状況を把握する一助として外部検定試験を活用し、本県生徒の英語力および英語学習に対する意欲の向上を図る。											
[受益者] 小中学生						[想定される受益者数] 約60,000人					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況	11県で外部検定試験に対する補助を実施				

# 英語力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	川崎 正人			
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	実行予算、補助金													
補助率														
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	35,832	246				35,586	教育支援体制整備事業							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移				33,335	35,982	35,832								
2月現計予算額の推移				33,335	35,982									
決算額の推移				32,646										
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	中学卒業時にCEFR A1相当以上の英語力を持つ生徒の割合 (%)	(50.0)	(52.5)	(56.0)	(65.0)	(65.0)	(65.0)	(70.0)	福井県教育振興基本計画の目標数値 コロナの影響により、令和2年度の文部科学省の調査が中止					
		実績 62.8	61.2	61.4	-									
活動指標	中学3年生の外部検定試験受験者の割合 (%)	(90.0)	(90.0)	(90.0)	(90.0)	(100)	(100)	(100)						
		実績 96.5	92.7	91.6	98.3									
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

## 嶺南嶺北体験・探究活動支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	川崎 正人
事業主体	市町				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度 R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助										
補助率	定額										
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 学びを伸ばす ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子供の育成 ]				関連する県の計画等	〔 教育振興基本計画 〕					
[解決すべき問題・課題]											
小中学校において、校外学習で嶺北・嶺南間の訪問をする子どもの数は減少傾向にある。											
[事業目的]											
小中学校の遠足や校外学習、放課後子どもクラブにおける活動の一環として、ふるさと体験・探究活動を行う際の経費を補助し、県内の小・中学生が福井の文化や芸術に触れる機会、嶺北あるいは嶺南を訪問することによる広域的な学習機会を創出する。											
[事業内容]											
○嶺北から嶺南、嶺南から嶺北の体験・探究施設での活動に係る経費を補助 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校 バス1台当たり 約30,000円</li> <li>・放課後子どもクラブ 1クラブ当たり 50,000円</li> </ul>											
[受益者] 小中学生						[想定される受益者数] 約60,000人					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況					

## 嶺南嶺北体験・探究活動支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	川崎 正人			
事業主体	市町				事務 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区 分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開 始 年 度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助													
補助率	定額													
区分	事業費		国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	6,600						6,600							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					6,400	6,600								
2月現計予算額の推移					2,039									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	嶺北・嶺南を往来し、来 県活動などを実施した児 童生徒数 (目標) 実績				(7,400) 12,459	(7,400)	(7,400)	(7,400)						
活動指標	補助を活用した団体数 (団体) (目標) 実績				(200) 41	(200)	(200)	-						
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
コロナの影響により、校外学習等を中止する学校や、バスなどを 利用する長距離の移動を控える学校が多数存在した								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				